

## 雲仙岳

### 火山活動度レベル

火山活動度レベルは、1 (静穏な火山活動)でした。

### 概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

### 噴煙活動の状況

噴煙は白色・ごく少量、噴煙高度の最高は29日の20m(6月:30m)で、特に異常は認められませんでした(図2)。

### 地震・微動活動の状況

A型地震を1回(6月:5回)観測しました(図2、3)。震源は、平成新山付近でした(図4)。B型地震と火山性微動の発生はありませんでした(6月:B型0回、微動0回)。

### 地殻変動活動の状況

GPSによる地殻変動観測では、雲仙岳測候所 - 田代原、雲仙岳測候所 - 垂木台地、田代原 - 垂木台地の各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化はありませんでした(図5)。

### 機動調査観測

7月12~16日に機動調査観測を実施しました。平成新山山頂部の表面温度分布は、昨年11月と比べ、溶岩ドームの地熱地帯の状況に大きな変化は見られませんでした(図6)。

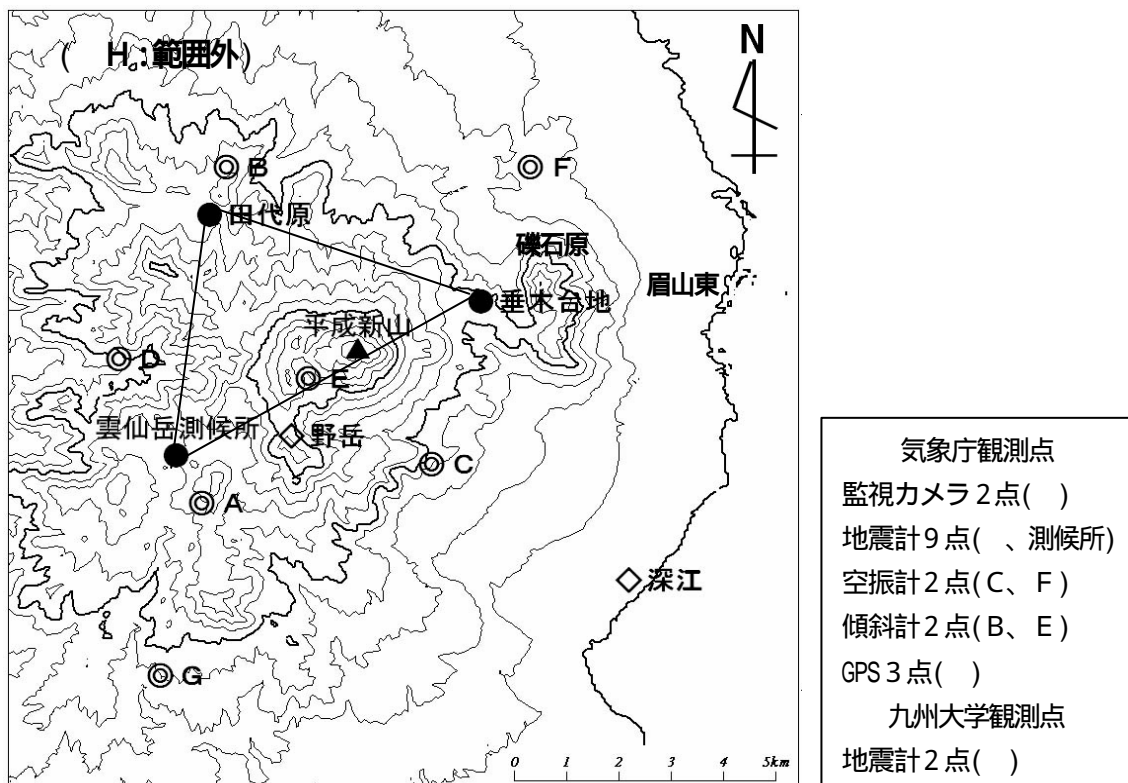


図1 観測点位置図

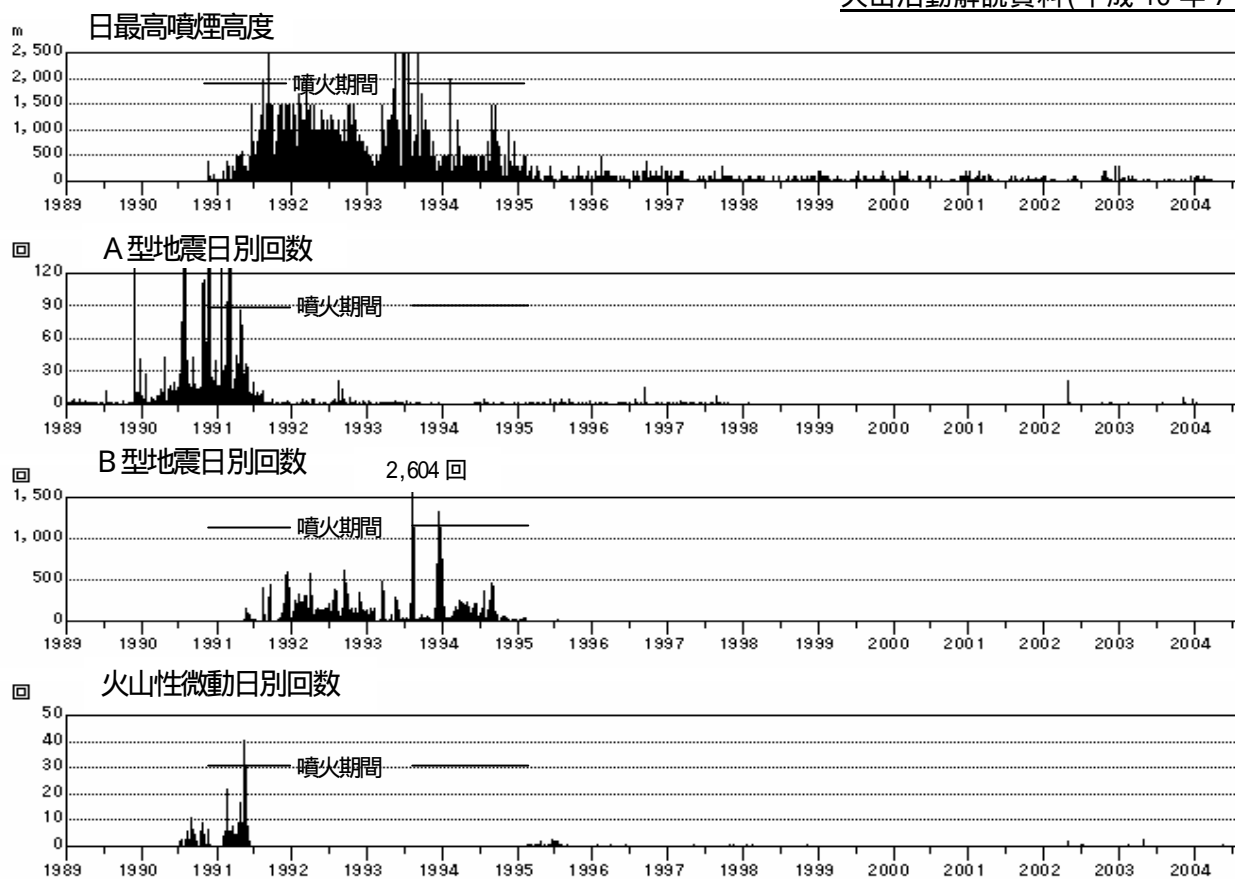


図 2 火山活動経過図(1989 年 1 月 ~ 2004 年 7 月)

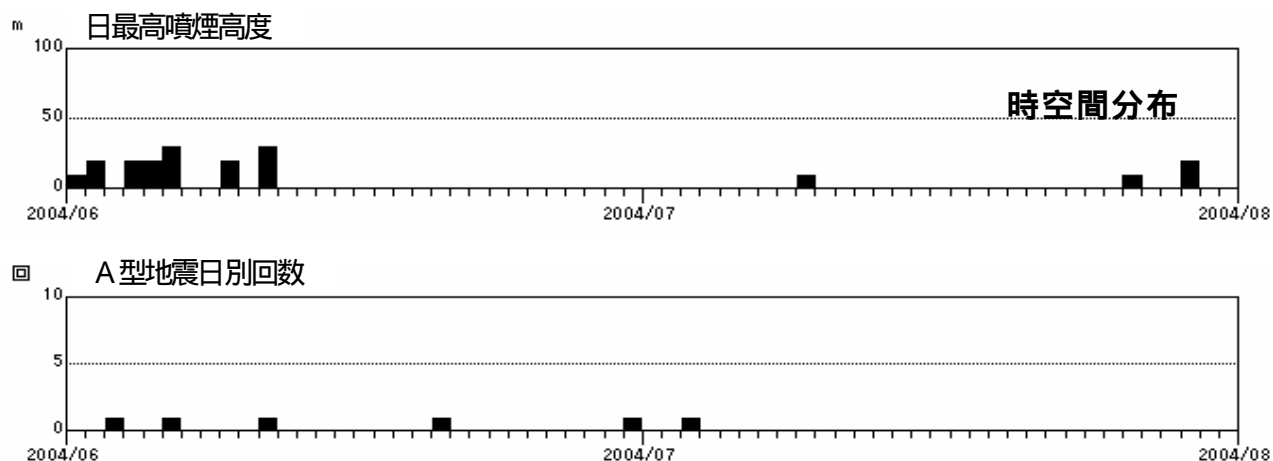


図 3 火山活動経過図(2004 年 6 月 1 日 ~ 7 月 31 日)

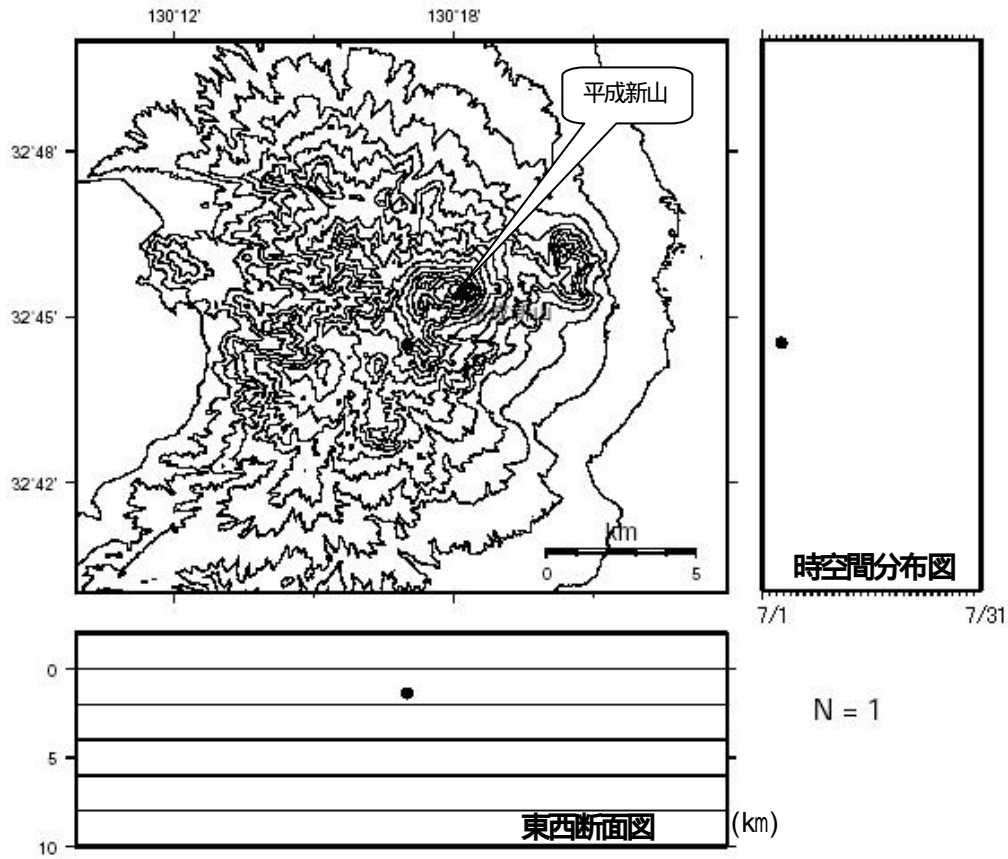


図4 火山性地震の震源分布(2004年7月1~31日)  
本資料は、九州大学、気象庁のデータを用いて作成した。

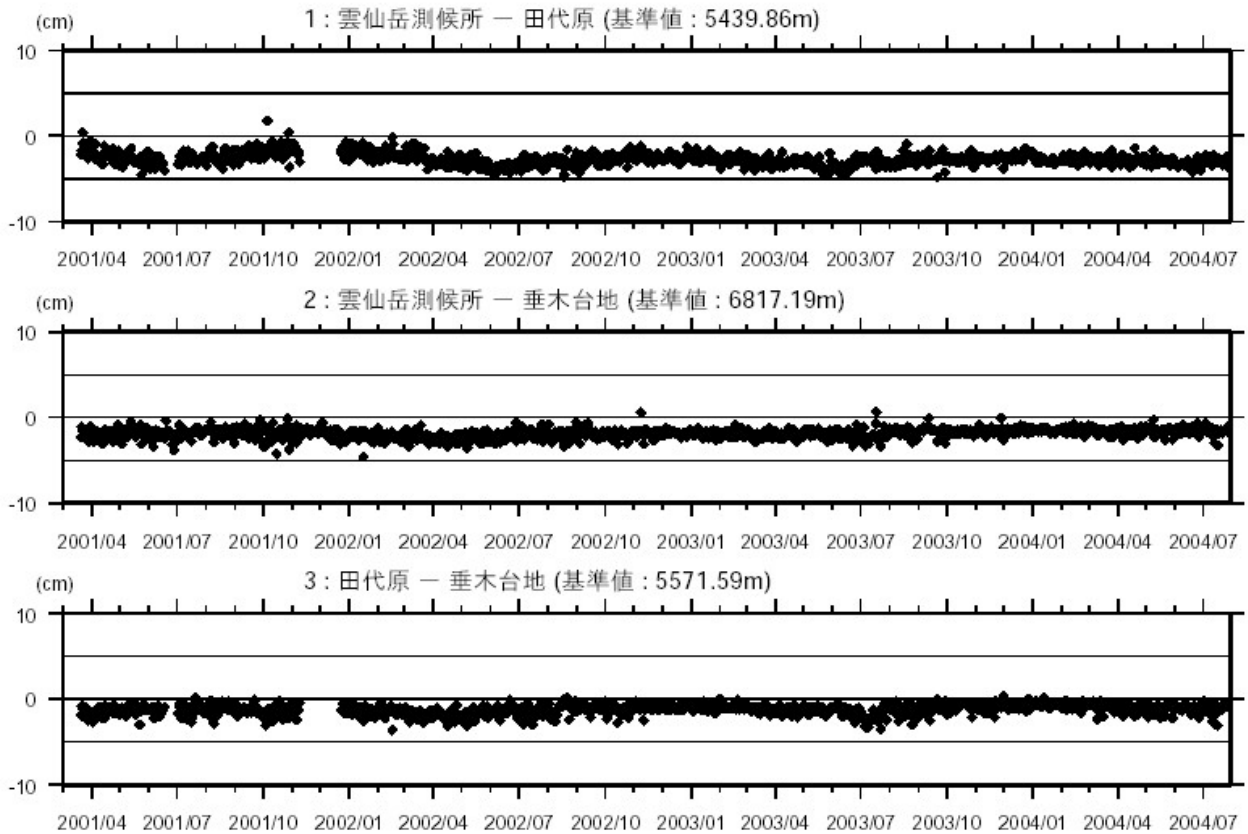
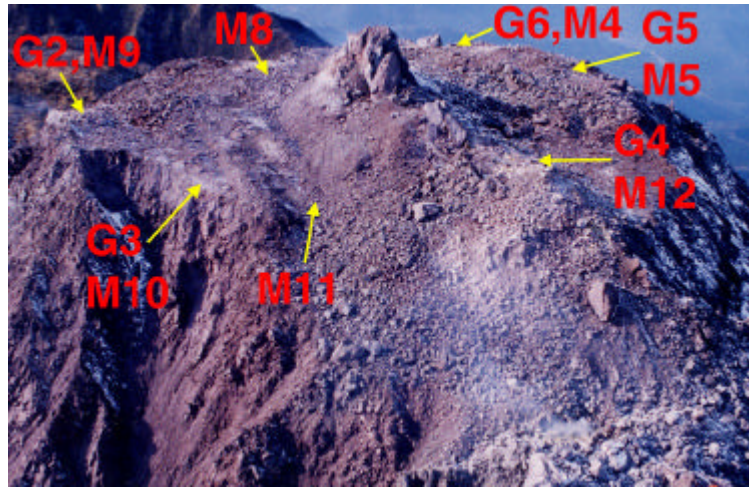
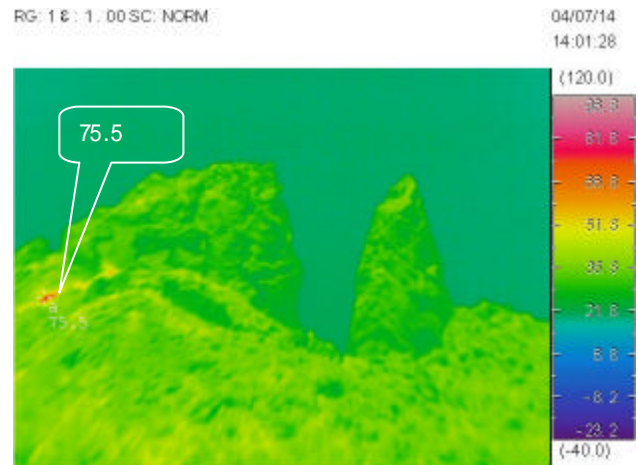
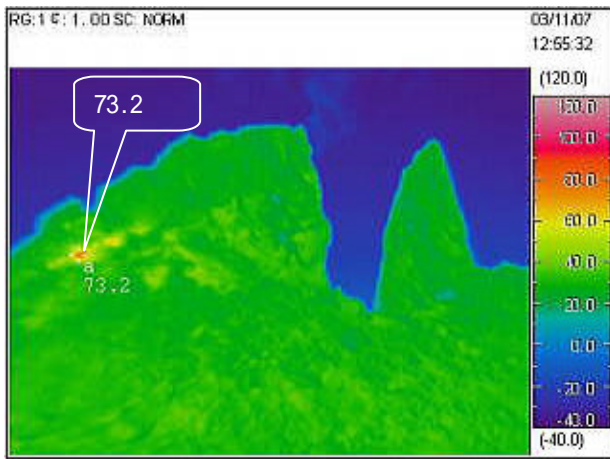


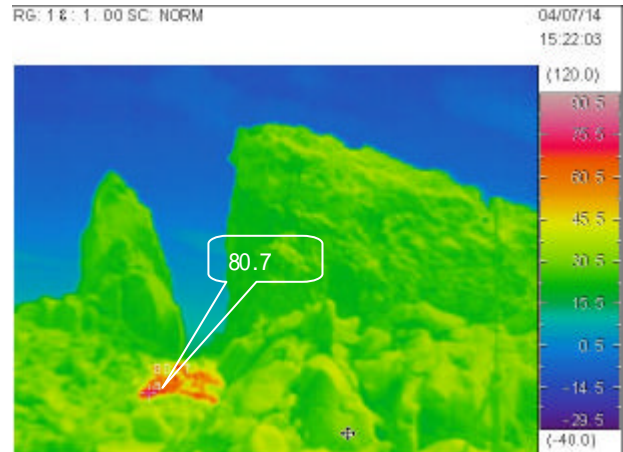
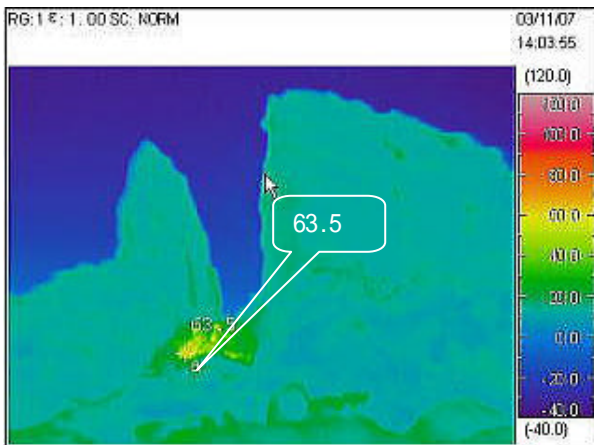
図5 GPSによる基線長変化(2001年3月20日~2004年7月31日)



溶岩ドーム (平成新山) の現地観測地点 (南東側上空から撮影)



M10(溶岩ドーム南側)付近からを撮影 ( T D 2 )



M 5 (溶岩ドーム北側)付近から撮影 ( T D 3 )

図 6 溶岩ドームの熱映像(左側 2003 年 11 月 右側 2004 年 7 月)